Dell™ OptiPlex™ XE — Broadcom® TruManage™

Broadcom TruManage を使用すると、リモートの集中管理サイトから Dell OptiPlex XE の共通タスクを自動実行したり、ハードウェア障害や過熱の問題を特定および監視したりできます。Dell Client Manager（DCM）バージョン 3.0 以上があれば、コンピュータのステータスを監視することもできます。

TruManage はコンピュータにプリインストールされています。ただし、TruManage を使用するには、有効にしてセットアップする必要があります。

TruManage を有効にする

次のどちらかを使用して TruManage を有効にできます。

- セットアップユーティリティ（BIOS）
- Dell Client Manager

セットアップユーティリティ（BIOS）を使用して TruManage を有効にする

1. コンピュータの電源を入れ、Dell ロゴが表示されたら <F2> キーを押します。BIOS 画面が表示されます。
2. **Maintenance（メンテナンス）**→ **System Management（システム管理）**を選択します。
3. **DASH/ASF** サポートチェックボックスをオンにします。これで TruManage が有効になります。
4. 保存して終了します。コンピュータが再起動します。

Dell Client Manager を使用して TruManage を有効にする

DCM を使用してリモートから TruManage を有効にできます。クライアントコンピュータで TruManage を有効にするには、Low Power Mode（LPM）を無効にする必要があります（詳細に関しては、「Low Power Mode」を参照）。

1. DCM を起動します。

メモ：詳細に関しては、Dell Client Manager のマニュアルを参照してください。

2010 年 1 月

2 DCM の BIOS 設定機能を使用して、**ASF mode（ASF モード）**を **DASH and ASF 2.0（DASH および ASF 2.0）**に設定します。

3 DCM の **Power Control Task（電源制御タスク）**を使用して、クライアントコンピュータを再起動します。

Low Power Mode

ご使用のコンピュータでは、Low Power Mode がデフォルトで有効になっています。LPM が有効になっている場合、コンピュータの電源がオフになるか、休止モードになると、ネットワークポートに電力が供給されなくなります。

メモ： Wake on LAN（WOL）などの帯域外（OOB）管理機能は、ネットワークポートに電力が供給されている場合にのみ機能します。

メモ： TruManage を有効にすると、TruManage 用のネットワークポート（ネットワークポート 2）の LPM が自動的に無効になります。コンピュータのネットワークポートの位置を確認するには、コンピュータに付属している『セットアップと機能に関する情報技術シート』を参照してください。

両方のネットワークポートでその他の OOB 機能を有効にするには、セットアップユーティリティで **Low Power Mode（低電力モード）**を無効にします。

TruManage 警告

TruManage は、監視対象のコンピュータにハードウェア障害や環境または過熱の問題が発生した場合に DCM コンソールを介して警告します。

環境または過熱の問題

ファン速度または温度が異常レベルに達した場合に、TruManage が通知します。

監視対象のファン：

- プロセッサのファン
- ハードドライブのファン
- 電源ユニットのファン

監視対象の温度：

- プロセッサの温度
- システムの周辺温度
- 電源ユニットの温度